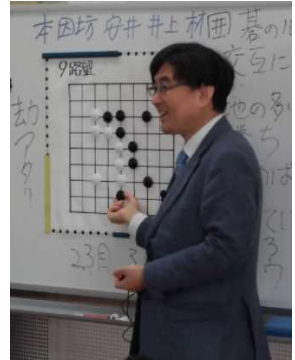




11月19日(火)、20日(水)、日本棋院より石倉昇九段をお招きして、1年生囲碁教室を行いました。石倉先生には、囲碁の歴史やエピソード、囲碁を通して身につけることのできる力・効用についてお話をいただきました。

その後、基本的なルールと3つの法則について丁寧に説明をいただき、生徒は9路盤での対局に臨みました。また、今回の囲碁教室には、近隣の囲碁愛好者の皆さんにも御参加いただき、石倉先生のサポートをしていただきました。生徒の皆さんの感想をご紹介します。

私が囲碁をしたのは、今回が初めてでした。ルールを聞いたときはあまり分からなかったけど、やってみた時は教えてもらって分かるようになりました。ペアの人に最初は勝てなかったけど、少しずつコツが分かって、できるようになりました。囲碁教室はとても楽しかったです。このような貴重な経験ができてよかったと思います。(1年 松本さん)



僕はもともと五目並べしかやったことがなく、囲碁のルールを知りませんでした。しかし、ここで、囲碁のルールやコツなどを教えてもらい、対局にも勝利できるようになりました。また、囲碁の歴史や効用の中では、コミュニケーションや国際力、礼儀とこの三つが大事だと思いました。



囲碁をする中で、色々な力が成長していくから、僕も祖父と一緒にしてみようと思います。(1年 江上くん)

囲碁について4時間学びました。全くやったことがなかったけど、石倉昇九段のお話を聞いていると、なるほどと思えるようになっていきました。そして、3つの法則がありました。1. 周りに来たらごあいさつ、2. 危ないナナメにご用心、3. 入れてください、入れません、というものでした。実際に、この3つをおさえてやってみると、次のことが考えやすくて、初心者の私でも、できました。他にも、囲碁の歴史や囲碁の効用などが分かりました。囲碁をやっていると、考える力やコミュニケーション力が上がるということだったので、やりたいなと思いました。(1年 井嶋さん)

僕は、囲碁を徳川家康公が全国に広めたと聞いておどろきました。囲碁で仲間をつくって、関ヶ原で石田三成を倒したのはすごいと思いました。また、中国だけでなく韓国や米国などでも碁を打つ人がいると知りました。これからはグローバルな時代なので、碁を通じて外国の人とつながれたらと思います。松尾くんと戦って、勝ったり負けたりしたけど、祖父の家に囲碁があるので練習して、再戦を申し込みたいです。(1年 谷口くん)



囲碁の効用は、①考える力、②コミュニケーション力、③バランス感覚、④忍耐力、⑤集中力、⑥決断力、⑦大局観、⑧右脳活性化、⑨国際力、⑩礼儀、と紹介いただきました。

将来、「英語」を活用して当たり前の時代を生きる生徒の皆さんは、「囲碁」を知っていることで、どこかできっとプラスになるでしょう。また、囲碁の効用も色々な場面で生かせることでしょう。 2019.11.27 副校長 山部

「玉高附中通信WAKAGOMARU」は、玉名高校・玉名高校附属中学校ホームページに掲載しています。

URL : <http://sh.higo.ed.jp/tamana/>